

伊丹市議会議員 おおつる 求 の活動報告

みんなちがって、
みんないい

自然災害時の緊急情報伝達ツールはたくさんあるが・・・。

多言語化にも対応した「ひょうご防災ネット」の導入を！

伊丹市には約50ヶ国、3,200名以上の外国籍市民が生活しています。また改正入管法による外国人労働者受入れにより、「災害弱者」と位置づけられる外国籍市民の増加が予想されます。

一方、大型台風や地震などの緊急災害時、市が市民へ情報を伝える方法は、ホームページ・緊急災害情報メール・FM いたみ・屋外拡声器・Facebook・広報車等がありますが、外国語対応しているのは「ホームページだけ」です。



ひょうご防災ネット
スマートフォンアプリ版登場！

「ひょうご防災ネット」は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用者の方々へ提供するサービスです。
いつ発生するかわからない災害に備え、ぜひダウンロードしてください！！

主な機能

いざという時に備え「マイ避難カード」を作成

いざというときに、速やかに避難行動をとれるように、学びながら自分で考えた避難行動に移るタイミング（逃げ時）や避難場所をアプリ内「カード」に保存できます。
また、保存した逃げ時に関する情報をプッシュ通知で受け取ると「マイ避難カード」を表示します。

避難場所を地図で検索

（三）避難場所マップは閲覧専用です。

3ヶ所の市・町の登録が可能

自宅や職場の地域が異なる場合でも安心です。
さらに、現在地を指定すれば、今いる場所に関する情報も受信できます。

12外国語対応

日本語で配信された緊急情報を自動翻訳して表示します。

音声読み上げ

スマートフォンの音声読み上げ機能を使い、配信した情報を読み上げることができます。

防災情報リンク集

災害時に役立つと思われる、色々な防災情報のリンク集です。

導入していないのは伊丹市だけ！？

今年5月、兵庫県は「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリの運用を始めました。

日本語配信情報を12ヶ国語へ自動翻訳する機能に加え、音声読み上げ機能やGPSを用いた避難所の検索、利用者への避難情報、各種気象情報のプッシュ通知等、避難行動を支援する機能を備えています。

質問の過程で「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリを県内で導入していないのは本市だけ、という事実も判明し、驚く場面もありました。

本市でも早急に導入することを要望しています。

日々の活動は、ブログや Facebook に掲載しています。是非ご覧ください。「おおつる求」で検索！

全国から注目を集める先進施策

苦しんでいる市民への就労支援事業 今後も財政的・人的手当の充実を要望

8月16日付け朝日新聞全国版に、本市の生活困窮者自立相談支援事業が取り上げられた。

6年間、ひきこもっていた50代男性が、今年3月に市を通じて自転車駐輪場を管理する仕事を始め、「次を考えたい」と前向きな姿勢になった事例が紹介されている。

40～64歳のひきこもり状態の人は全国推計約61万人（内閣府調べ）。その実態は知られてきたが、対応策が悩ましい中、本市の取組みはひとつの答えを示している。



くらし・相談サポートセンター

様々な支援をしています

■自立相談支援事業

その方に寄り添って

■就労支援事業

お仕事探しのお手伝い

■住居確保給付金支援事業

住宅確保のお手伝い

■修学支援事業

子の学習をサポート

■就労準備支援事業

一歩を踏み出すお手伝い

■家計改善支援事業

お金の使い方を学ぶ

■無料職業紹介事業

人と仕事をマッチング

キーワードは「オーダーメイド型」と「段階的」

市役所1階の「くらし・相談サポートセンター」では、相談者の課題を正確に把握し、現状に合った支援を「オーダーメイド型」かつ「段階的」に支援することを大切にしている。

例えば、相談者が「すぐ仕事に就きたい」と希望しても、生活が昼夜逆転していたり、体力面で就労へ向けた準備が整っていないと判断した場合は、就労準備支援員が悩みの解決を図り、職業体験やセミナー受講の機会を提供する「就労準備支援事業」や、「中間的就労」と位置付けられる「認定就労訓練事業」の利用を勧めるなど、課題に応じて段階的に対応。昨年度は55名の方が一般就労に至った。

数少ないセーフティーネットの充実を

相談者へ「オーダーメイド型」支援を提供する為、多種多様な就労と就労体験の準備が必要であるため、市は公共施設の清掃等の業務を優先発注し、就労訓練の機会充実を図っている。

ひきこもりの高齢化と長期化の背景には、「不況による労働環境の悪化」や、「再挑戦しづらい社会環境」がある、と専門家は指摘する。

生活困窮者自立相談支援事業は、数少ないセーフティーネットとして、増々大きな役割になっていくため、相談員を手厚く配置することや、行政業務の優先発注を今後も続けていくことを要望した。

中間的就労

心身の不調や長期のブランクにより、働きづらさを抱え、すぐに就労することが難しい方に、一定の配慮をして、働くことを促進する取組み。

9月議会 アレコレ

私を含め26名の議員が、代表・個人質問をしました。
その中から、身近な話題をピックアップしてご報告します。



2、公立幼稚園が閉園となる場合、跡地は教育、子育てのために活用しよう努めること。

2018/2/9

伊丹市立幼保連携型認定こども園条例等の一部を改正する条例の修正議決に対する附帯決議

閉園後の跡地利用を考える

公立幼・保の統廃合で、来年度以降11園が閉園予定。その跡地利用の方向性が示された。稲野幼は児童くらすと、子どもの学校復帰にむけた援助を行う「適応教室」に。南幼・緑幼・西保は待機児童解消のため民間保育所を誘致。こやのさと幼は松崎中のテニスコート。その他の跡地は売却予定という。ただ、まとまった土地が少ない本市にとって、跡地は貴重な財産。有効活用できないか、今一度考えていきたい。

保育教諭の待遇改善を

国の幼児教育無償化施策の影響で保育需要が高まる中、保育教諭（幼稚園教諭・保育士）不足が深刻化している。一方、正規雇用保育教諭のうち、過去5年間の退職者数は47名（定年を除く）で、離職率は4.9%。正規雇用事務職員が1.7%だけに、離職率の高さが際立つ。

放課後児童クラブ指導員の人手不足も含め、待遇改善が急がれる。



市役所新庁舎の工事費はナンボ？

建替えが始まった市庁舎。基本設計段階では総事業費156億円、うち実施設計・新築・解体・一部改修等の工事費は約138億9千万円。今年6月、設計・施工を一括でおこなう事業者は大成建設㈱に決まった。請負金額は107億6千9百万円（落札率77.5%）。

ただ、2024年度まで長期にわたる工事のため、資材単価や物価変動が生じた場合はスライド条項を適用し、適正な請負代金に見直すため、今後も工事費の増減が生じられる。



不登校児童・生徒の現状

「何らかの心理的、情緒的、身体的、社会的要因・背景により年間30日以上登校しない、登校できずに欠席した者。病気や経済的理由除く」と国は不登校を定義している。昨年度の市内不登校児童・生徒は、小学校53人、中学校で184人。原因は不安などの情緒的混乱や無気力が増えている。集団行動・同調圧力・点数主義。学校システムの限界を表しているのでは。



フォト・ダアイアリー [おおつる求フログ・Facebook から]



[写真説明・左上から時計回り]

- 稲野納涼夏祭りでも「炭坑節」を叩く。
- 複数组合第10回交流会。
- 阪神土建労働組合の恒例子ども木工教室。
- 米軍機緊急着陸の件で近畿中部防衛局交渉。
- 今年度で閉園、南幼稚園で最後の運動会。
- 部落解放研究第53回全国集会へ参加。



本市の自転車事故件数が止まらない。

2017年が371件。

2018年が384件。

今年も同じペースで増え続けている。
その8割以上が、交差点やその周辺で発生している。また、音楽を聴きながら、スマホを操作しながらの【ながら運転】が原因の事故も後を絶たない。

今一度、自転車運転の安全確認を！

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留もとむ
伊丹市議会議員 **おおつる 求**

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■2015年の市議選に社民党公認で出馬し初当選。2019年に再選、2期目 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会副会長

日々雑感

■「あんしん」「じしん」「じゆう」は、大切な「けんり」。子ども自身が様々な暴力から心とからだを守る予防教育プログラム「CAP講習会」初体験。

■G20大阪サミットで伊丹空港に米軍機が延べ56回離発着した事実。

■真夏の鳥取砂丘で熱中症状状態に。

■「変わるの私たち、変えるのも私たち」大橋ゆうこさんを国会へ送れずホント悔しかった参議院選挙。次こそ。

■百歳以上の方が77名おられる伊丹市。健康長寿の時代到来と実感。

■この国は、酷暑が普通になったのか。

■労働組合運動をしたら次々とパワられる異常な事態が続く。権力による連帯ユニオン関生支部への不当弾圧。

■土井たか子さんが亡くなり5年。今こそ土井さんの志を大切にしたい。

■閉園する幼稚園、最後の運動会。改めて議員の責任を噛みしめた秋。

■苦手な写真撮影。初のスタジオ。疲れた。今回から表紙写真を新しく。